

令和四年度 京都府公立高等学校入学者選抜  
前期選抜学力検査

国 語

解答上の注意

- 1 「始め」の指示があるまで、問題を見てはいけません。
- 2 問題は、この冊子の中の1～6ページにあります。
- 3 答案用紙には、受付番号を記入しなさい。氏名を書いてはいけません。
- 4 答案用紙の答の欄に答えを記入しなさい。採点欄に記入してはいけません。
- 5 答えを記入するときは、それぞれの問題に示してある【答の番号】と、答案用紙の【答の番号】とが一致するように注意しなさい。
- 6 答えを記号で選ぶときは、答案用紙の答の欄の当てはまる記号を○で囲みなさい。答えを訂正するときは、もとの○をきれいに消すか、それに×をつけなさい。
- 7 答えを記述するときは、丁寧に書きなさい。
- 8 字数制限がある場合は、句読点や符号なども一字に数えなさい。
- 9 答えの書き方について、次の解答例を見て間違いのないようにしなさい。

解答例

一 木曜日の翌日は何曜日か、漢字一字で書け。……………答の番号【1】

二 次の問い(1)・(2)に答えよ。

(1) 北と反対の方角として最も適当なもの  
のを、次の(ア)～(ウ)から一つ選べ。

……………答の番号【2】  
(ア) 東 (イ) 西 (ウ) 南

(2) 次の(ア)～(オ)のうち、奇数をすべて選べ。……………答の番号【3】

(ア) 1 (イ) 2 (ウ) 3  
(エ) 4 (オ) 5

二		一	問題番号	答の欄	採点欄
(2)	(1)	【1】	答の番号		
【3】	【2】	【1】	金	曜日	【1】
ア	イ	ウ			
エ	オ				
【3】	【2】	【1】			

共通学力検査				
国 語				
受付番号				
得 点				

— 次の文章を読み、問い(1)～(8)に答えよ。(19点)

生きていればなにかしらのすれ違いやトラブルもあるし、その際、心がチクリと痛むことがたまにある。傷つけるつもりはなくても人を傷つけてしまったり、親切でしたこと、あるいは義務としてやったことなどが逆恨みされてしまうなど、まったく世の中はままだらないものである。とりわけ、異なる価値観や立場の人が相手である場合、いかにこちらが言葉を届けようとしてもうまく届かないこともある。人とうまくやっていくというのは——他人を分かること、自分を分かってもらうことなどは——本当に難しい。できれば、そうした痛みを受けることなく、平穩に、うまくやれる喜びだけを感じて生きてゆきたいものである。

ただ、そうした「痛み」が無駄なもの、忌むべきものかといえ、必ずしもそういうわけではないように思われる。なぜなら、それは「分かったかった」「分かってほしかった」という自分の心の在り方を示すものであり、たとえその心の在り方ゆえに、ちょっとしたことでも他者との関係上苦痛を感じるとしても、それは自身にとってその関係が重要だからそうなのであって、だからこそやはりその痛みはそのことを知らせてくれるという点で価値があるのだ。ただし、気をつけるべきポイントがここにはある。たとえば、あなたにとってそうした痛みの意味が「ある」のではなく、「あった」にすぎないものだとなれば、それはあなたと他の人との関係性の限界がそこまでであることを示していることになる。もし、その限界を超えようと思うのであれば、まずはその痛みをきちんと痛みとして認めつつ、相手の重要性と自身の願いを自覚し、そのうえで、「自身がどうすべきか」を問い直す必要があるだろう。これをすることなく、「結局分かった合えないんだよね、人ってしょせんそんなものだから」と言ってしまうと、たしかに痛みから逃れて楽にはなれるのだが、それは実際に心が痛んだというその事実を過小評価するようなものである。別に学問に限らず、恋愛関係や友人関係などにおいても、一度は自身のそうした心の痛みをきちんと向き合い、そこでなにをどうすべきか真剣に考えてみるもよいのではないだろうか。もちろんその結果、相手と距離をとることもあるだろうが、しかしそれでも「あいつは人として間違っている」とか「あいつがいなくなれば世の中がもっと良くなるはずだ」などといった憎悪や偏見に陥る必要はない。

普段当たり前と信じていることを問い直し、自分自身が正しいかどうか、あるいは自身がなにをすべきかをその理由に遡って考えることは、こうしたことと似ている。うまく生きられないとき、あるいは、うまく生きていながらもどこか心が痛んだりモヤモヤするとき、あなたは「今のあなたの認識」の限界ライン近く

【下へつづく】

にいるといってもよい。その痛みを耐えながらも、世界のさらなる価値を信じ、それまでの限界を乗り越えたとき、あなたにとっての世界は拡がってゆくだろう。それは、価値観が豊かになり、他人をより良く理解することにもつながるのだが、そのためにはまず自身と向き合う必要がある。本書で紹介した議論には、われわれの心にチクリと痛みを与えかねないような「理由の問いかけ」や「或る種の答え方(という応え方)」がたくさん含まれている。「ルールをただ守ればそれでいいと思っていないか?」「自分は善を知っている、となぜいえるのか?」「環境開発の恩恵と引き換えに、自然破壊に加タンしているのではないか?」「動物に対してひどいことをしていないか?」「強者である自分たちの利益のために、生命というそれ自体価値あるものを利用してはいないか?」と問われ、それに真剣に向き合うとすれば、おそらく多くの人が心にチクリとした痛みを感じるだろう。そして、そこから導かれたなんらかの答えは或る人にとっては安らぎを、そして別の人にとってはやはり痛みを与えるものとなるかもしれない。

そうした痛みから逃れる手っ取り早い方法は、それを問いかける側の理屈になんらかの欠点・難点があることを指摘したり、あるいは、問いかける理論を駆使する人に対して「人でなし」「頭でっかち」「世間知らず」「原理主義者」「差別主義者」などのレッテルを一方的に貼りつけてその言説を無効化しようとするものである。そして、「こちらが問われるべきことなどないんだ」と安心感に浸ることとでその痛みを回避できるわけだ。ただし、それは前述の、他人とうまくやりたけれどやれないとき、その痛みから逃れるために、自分自身を問い直すことなくそのうまくいかなさを自分以外のせいにするにも似ている。そうやって世界に対する自分の関わり方の可能性をそこで閉じてしまうことが、一度しか与えられていない、そして、かけがえがなく取り戻すことのできない有限な時間に生きる、自分自身の人生として本当にふさわしいのだろうか。やはりそのことはきちんと考えてみたほうがよい。

(中村隆文『「正しさ」の理由』による)

注

\*忌む：好ましくないものとして避ける。

\*本書で紹介した議論：本文より前の部分で、倫理的な問題について様々な説を踏まえて筆者の意見が述べられている。

\*原理主義者：特定の理念や原則に基づくことを厳格に守る人。

- (1) 本文中の ままだらない の意味として最も適当なものを、次のI群(A)～(E)から一つ選べ。また、本文中の しょせん の意味として最も適当なものを、後のII群(カ)～(ケ)から一つ選べ。……………答の番号【1】

- I群
- (ア) 責任がとれない (イ) いつも変わらない
- (ウ) 心が休まらない (エ) 思いどおりにいかない
- II群
- (カ) 落ち着くところは (キ) 長期的に捉えると
- (ク) 悲しいくらいに (ケ) 広い意味では

(2) 本文中の <sup>b</sup> そうした痛み は、何によって引き起こされるものか。最も適当なものを、次の (ア)～(エ) から一つ選べ。…………… 答の番号【2】

- (ア) 他者と自分の価値観に相違がないこと。
- (イ) 他者や自分の気持ちを損なうような交流がないこと。
- (ウ) 他者に対する考えが自分の中で変化すること。
- (エ) 他者と自分が意思疎通をする中で食い違いが生じること。

(3) 次の文は、本文中の「<sup>c</sup> あった」にすぎないものとすれば、<sup>a</sup> に関して述べたものである。文中の  に入る表現として最も適当なものを、後の (ア)～(エ) から一つ選べ。…………… 答の番号【3】

痛みの意味が「<sup>c</sup> あった」にすぎないものだとすることは、その人との関係がそれ以上にはならないことを示しており、痛みを認め、 とすべきところを、しななかった状態を指している。

- (ア) 自分が求めることと相手の重要性を確認し、相手の振る舞いを見直そう
- (イ) 自分の行動や相手が重要であることを再確認し、相手の願望をかなえよう
- (ウ) 相手の重要性を認識し、自分の思いを踏まえて適切な行動を検討しよう
- (エ) 相手が重要でも、関係を希薄にすることによって自分の痛みを退けよう

(4) 本文中の <sup>e</sup> 陥る と <sup>f</sup> 遡って の漢字の部分の読みをそれぞれ平仮名で書け。…………… 答の番号【4】

(5) 本文中の <sup>g</sup> うまく生きて は、二つの文節に区切ることができる。この文節どうしの関係として最も適当なものを、次の (ア)～(エ) から一つ選べ。…………… 答の番号【5】

- (ア) 修飾・被修飾の関係 (イ) 補助の関係
- (ウ) 主語・述語の関係 (エ) 並立の関係

(6) 本文中の <sup>h</sup> 加タン の片仮名の部分を漢字に直し、楷書で書け。…………… 答の番号【6】

(7) 本文中の <sup>i</sup> それ の指す内容として最も適当なものを、次の (ア)～(エ) から一つ選べ。…………… 答の番号【7】

- (ア) 問いに対する答えが多様であると指摘し、たとえ真剣に臨んだとしても自分一人で問いを解決することはできないと思うことで痛みを回避すること。
- (イ) 問いの不完全さを示したり、問う者を非難したりして問いとしての意味を失わせて、自分が向き合うべきことではないと思うことで痛みを回避すること。
- (ウ) 問う者に一方的な評価を加えるために、論理の矛盾点を指摘して問いを破綻させ、自分が問われるべき理由はないのだと思うことで痛みを回避すること。
- (エ) 問いが難解だと指摘したり、問う者を追及して真意を解明したりして、問いが自分を非難するものとして不十分だと思うことで痛みを回避すること。

(8) 次の会話文は、仁さんと唯さんが本文を学習した後、本文について話し合ったものの一部である。これを読み、後の問い①・②に答えよ。

仁 本文では、「痛み」を感じることは悪くはないと述べられているよ。

唯 そうだね。他者との関係の重要性ゆえに私たちは痛みを感じるし、その痛みは、自分が他者に対して相互理解を求めていた <sup>A</sup> だから、私たちがとって有用だとも言えるんだね。

仁 うん。痛みから逃げず、自分を問い直すことは、「世界に対する自分の関わり方の可能性」が開かれることになるよと本文から読み取れるね。

唯 つまり、自分の世界は、今の自分が持つ <sup>B</sup> によって大きくなり、そのことがもの見方を多様化して <sup>C</sup> を深めることも可能にするんだね。そうして自分自身の人生をより良いものにしていくことが、私たちにとって適当なことなのではないかと筆者は述べているよ。

① 会話文中の <sup>A</sup> に入る最も適当な表現を、本文中から十字で抜き出して書け。…………… 答の番号【8】

② 会話文中の <sup>B</sup>・<sup>C</sup> に入る適当な表現を、本文の内容を踏まえて、<sup>B</sup> は十字以上、十三字以内で、<sup>C</sup> は四字以上、八字以内で書け。…………… 答の番号【9】

下書き用

C	B
4	10
8	13

によって大きくなり、そのことがもの見方を多様化して

【裏へつづく】

二 次の文章を読み、問い(1)～(7)に答えよ。(19点)

(1)～(10)は、各段落の番号を示したものである。

1 エルンスト・マッハの描く「自画像」は、私の身体と世界との間に存在する感覚を<sup>a</sup>仔細に反省すると、外界と内界の区別があいまいになっていく気分をよく表現しています。

2 この「自画像」には、意表を突かれます。正面を鏡に映した、客観的視点から自己を見つめる自画像に慣れているからでしょう。しかし、哲学者マッハの観察の通り、私から見える「私の姿」は、片目を閉じると、まさに彼が描いたような形をしています。「私」の見ている主観的な世界の境界は、なかなか意識にのぼりません。

3 この自画像では、右手に鉛筆のような筆記具を持っています。デッサンをするときには、眼で見える世界、あるいは自己の内面のビジョンを、意識して観察し、絵を描いていくことでしよう。形、大きさ、角度、距離、固さと柔らかさ、光と影、色。このような量や形の配置、お互いの関係性を観察し、測ることを行っていると思います。

4 世界の中で生きる私たちの日常も、どこかで観察し、測る行為を無意識のうちに行っています。直接は眼に見えない、時間や温度も測ろうとします。

5 その基準には、身体感覚があります。目、耳、鼻、舌、皮膚。人間の五感は身体に備わったセンサーです。指、手、足なども動員することで、身体そのものを道具として、世界を測ろうとします。身体感覚は、その尺度(measure)と異なります。身体の外側にある遠いところにある世界、たとえば、遠くの山、空に浮かぶ雲、夜の空に輝く星々には手を伸ばしても直接触れることはできません。手が届かなくても、目や耳を使って、大きさや形、距離などを感じる手ができるものもあります。空に浮かぶ月も、水面に映る月の姿も、手に取ることはできないことを経験的に学び、世界との距離感を獲得していきます。

6 測ろうとする対象は、身体の外側に広がる外的な対象と、身体の内側の感覚に根差した内的な対象とに分けられそうです。外側にある対象は、客観的な数値で表しやすく、内側にある対象は難しそうです。□、よく反省してみると、双方は関連し合っているので、そう単純に分けられそうにはありません。熱い／



エルンスト・マッハによる自画像

冷たいの尺度となる温度は温度計で測ることのできる客観的な量ですが、温度計で同じ値を示されても、熱い／冷たいは、人によって感覚が異なります。気分や体調の影響も受けます。マッハの自画像のように、私の観察する「私の身体」は、私の内か外か、あいまいです。

7 身体の内側の感覚の中には、皮膚の表面で感じられる感覚もあれば、体の内部で感じる痛みなどの感覚もあります。感情は内的なもののように思われますが、顔の表情や顔色、手の動作、体つきに感情は立ち現れてきます。外側に表出した他者の感情を<sup>a</sup>慮ることで、私たちの内面や行為や言葉が影響を受けることもあります。そこから派生するものは私の感情ということになるでしょう。

8 身体の外側でも内側でも、何かしら測ることを行い、その結果「量」を得ています。それを反映するように、言葉には対になっている関係が数多く埋め込まれています。長い／短い、大きい／小さい、広い／狭い、重い／軽い、右／左、速い／遅い、熱い／冷たい、良い／悪い、嬉しい／悲しい……外国語を習い始める際にも、早い段階で表現したくなる語彙です。対になる語群は、量的なものだけにとどまらず、質的なものにもまでおよんでいます。

9 主観的な量と客観的な量のズレが意識される場合もあります。時間感覚はそのよい例でしょう。一時間くらい経ったかな、と思って時計を見ると、まだ三〇分しか経っていなかった、といった経験をする場合があります。この時、おそらくは時計を信頼して、外の時間に内の時間を合わせます。様々な「測定する機械」に囲まれた私たちは、数値を交換して社会的に意思疎通することを日常的に行っています。外的な基準、客観的な基準を参照することで、主観的な評価のゆらぎを再測定し、修正をかけている、といえます。世界を予測しつつ、生きている。予測しながら心身の態勢を整えています。

10 「人間は万物の尺度である」というフロタゴラスの<sup>a</sup>相対主義的考えを示す断片は、あなたも私も正しい、という真実の決定不可能性の脆弱さを含んでいます。真実がなんであるのかがあいまいにされ、人々の判断が麻痺する危険すらあるかもしれません。そのためでしょう、ソクラテスと若き秀才アイテトスの対話の中で、真の知識の基準としては却下されていきます。確かにその通りですが、この言葉は、人間以外の生命体と出会ったときには、人間の文化文明の外郭を浮かびあがらせます。むしろ、「人間」と「万物」の適用範囲に対しての熟考が必要なのだと思います。「人間」の指し示す範囲は「我々」意識とつながっています。見慣れた「我々」以外を「人間」として迎え入れるかどうか、「我々」の境界線が外の世界との関係をつくっていきます。「人間」の構成が変わるとき、「万物」の尺度にも動揺が生じるのでしょうか。

(二)三浦均「映像のフュシス」による……一部表記の変更や省略がある)



(6) 本文の段落構成を説明した文として最も適当なものを、次の(ア)～(エ)から一つ選べ。

..... 答の番号【15】

(ア) 1～3 段落は話題を提示する序論であり、4～9 段落では具体例を提示しながら考察を述べ、10 段落で主張を述べるとい構成になっている。

(イ) 1～3 段落は序論であり、4～9 段落では筆者の主張と一般論とを比較し、10 段落で筆者の主張をまとめるという構成になっている。

(ウ) 1～3 段落で主張を提示し、4～9 段落で主張を補強する根拠となる具体例を述べ、10 段落で読者に疑問を投げかけるという構成になっている。

(エ) 1～3 段落は主張を含む序論であり、4～9 段落で経験に基づいた具体例を示し、10 段落で改めて主張を確認するという構成になっている。

(7) 真希さんと剛さんのクラスでは本文を学習した後、本文の内容を要約することになった。次の会話文は、真希さんと剛さんが話し合ったものの一部である。これを読み、下段の問い①～③に答えよ。

剛 私たちはいろいろなものを測りながら生きているんだね。10 段落で、「人間は万物の尺度である」という考え方には「人々の判断が麻痺する危険すらあるかもしれない」と述べられていたけれど、どうしてだったかな。

真希 私たちはいろいろなものを測りながら生きているんだね。10 段落で、「人間は万物の尺度である」という考え方には「人々の判断が麻痺する危険すらあるかもしれない」と述べられていたけれど、どうしてだったかな。

剛 本文全体を通して見ると、この考え方をを用いると、異なる感覚を持つ私たち一人一人の A はっきりしなくなるからだと読み取れるよ。

真希 なるほど。だから私たちは、複数の「測定する機械」が取り巻く社会の中で「数値を交換して」生活しているんだね。

剛 そうだね。むしろ「人間は万物の尺度である」という考え方には、「人間」と「万物」をどこまで適用させて深く考えるかが必要だと述べられていたけれど、それは B からだと解釈できるね。

真希 そうだね。本文をよく理解できたし、要約してみようか。

.....

① 会話文中の A に入る適当な表現を、本文の内容を踏まえ、何によって何がはっきりしなくなるのかを明らかにして十五字以上、二十五字以内で書け。..... 答の番号【16】

下書き用
25
15

② 会話文中の B に入る最も適当な表現を、次の(ア)～(エ)から一つ選べ。..... 答の番号【17】

(ア) よく見知った一部の人間が「我々」であるという認識が、その認識の外の世界との関係をゆがめており、「人間」という認識を拡大していくとき、社交性が身につく、「万物」の認識も広がる

(イ) 同じ文化を共有する人間が「我々」であるという認識が、その認識の外の世界との関係を閉ざしており、「人間」という枠組みを広げていくとき、「我々」を結びつける力が高まり、「万物」の理解にも変化が生じる

(ウ) 人間という生命体が「我々」とあるという認識が、その認識の外の世界との関係に格差をつけており、「人間」という概念を捉え直すとき、相互理解が深まり、「万物」の枠組みも広がる

(エ) 普段から慣れ親しんだ人間が「我々」とあるという認識が、その認識の外の世界との関係を定めており、「人間」という定義を再度思考するとき、価値観に変化が生まれ、「万物」の捉え方も変化する

③ 説明文を要約するときの一般的な注意点として適当でないものを、次の(ア)～(エ)から一つ選べ。..... 答の番号【18】

(ア) 文章全体を見通したうえで、結論に着目する。

(イ) 目的や分量に応じて、必要な内容を選択する。

(ウ) 正確にまとめるために、例や補足的な内容は余さず書く。

(エ) 短くまとめる場合は、表現を削ったり別の言葉で言い換えたりする。

三 次の文章は、「十訓抄」の一節である。注を参考にしてこれを読み、問い

(1) (5)に答えよ。(12点)

この部分は著作権の関係により掲載しておりません。

〔新編日本古典文学全集〕による)

注

- \* 召伯：周の政治家。
- \* 甘棠の詠：ヤマナシの木の子を作ったこと。ヤマナシは召伯にゆかりがある。
- \* 羊祜：晋の政治家。
- \* 門客峴亭の碑を：弟子たちが羊祜ゆかりの峴亭という山に石碑を。
- \* うちあらむ人：普通の人。 \* 廉頗：中国の戦国時代の武将。
- \* 棘を負ひし：謝罪するために、とげのある植物を自ら背負った。
- \* 蘭相如：中国の戦国時代の優れた家臣。ここでは廉頗が謝罪した相手。
- \* みどり子：幼児。 \* 情をむつまじくして：優しく愛情を注ぐことで。
- \* 六畜：六種の家畜。 \* むつる：なじんで親しくする。
- \* 人倫：人間。

(1) 本文中の **a** 情に過ぎたる忘れがたみぞなかりける の解釈として最も適当なものを、次の (ア) (イ) (エ) から一つ選べ。 答の番号 【19】

- (ア) 情けはその人を最も思い出させるものだ
- (イ) 人が情けを尽くすのは人に忘れられないためだ
- (ウ) 情けを尽くし過ぎるのはその人のためにはならない
- (エ) その人の情けは過去のものとして忘れられてしまった

(2) 本文中の **b** に入る語として最も適当なものを、次の (ア) (イ) (エ) から一つ選べ。 答の番号 【20】

- (ア) 縁
- (イ) 恩
- (ウ) 仇
- (エ) 罪

(3) 本文中の **b** よそに思ふべからず の解釈として最も適当なものを、次の (ア) (イ) (エ) から一つ選べ。 答の番号 【21】

- (ア) 他人だと思われてはいけない
- (イ) 他人の意見を気にしてはいけない
- (ウ) 他人を傷つけてはいけない
- (エ) 他人のことだと考えてはいけない

(4) 本文中の **c** いふゆゑを は歴史的仮名遣いで書かれている。これをすべて現代仮名遣いに直して、平仮名で書け。 答の番号 【22】

(5) 次の会話文は、かおるさんと健さんが本文を学習した後、本文について話し合ったもの一部である。これを読み、後の問い (一) (二) に答えよ。

**かおる** 本文では、様々な例を用いて情けについて述べられているね。一つ目の段落と二つ目の段落から、どのようなことが分かるんだかな。

**健** 一つ目の段落と二つ目の段落をあわせて考えると、情け深い行いを第一にするべきだということは、時代や場所だけでなく、行う人 **A** ことであり、大切なことであると読み取れるよ。

**かおる** そうだね。また、三つ目の段落では、「みどり子」や「六畜」を引き合いに出して、思慮分別のある人間なら **B** はずだということ伝えているね。

(一) 会話文中の **A** に入る適当な表現を、本文の内容を踏まえて、四字以上、七字以内で書け。 答の番号 【23】

下書き用

4	4	4	4	4	4
7	7	7	7	7	7

(二) 会話文中の **B** に入る最も適当な表現を、次の (ア) (イ) (エ) から一つ選べ。 答の番号 【24】

- (ア) 情けを尽くしても無理には応答を求めない
- (イ) 情けを尽くした相手が自分に感謝しているか見抜く
- (ウ) 自分が情けを尽くされたことを理解して行動する
- (エ) 自分が情けを尽くされたことがなくても気に留めない





# 共通学力検査 国語 答案用紙

三						二						一						問題 番号						
(5)		(4)	(3)	(2)	(1)	(7)			(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)	(8)		(7)		(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)
⊖	⊕					⊖	⊖	⊖							⊖	⊖								
【24】	【23】	【22】	【21】	【20】	【19】	【18】	【17】	【16】	【15】	【14】	【13】	【12】	【11】	【10】	【9】	【8】	【7】	【6】	【5】	【4】	【3】	【2】	【1】	番号の 答の
ア			ア	ア	ア	ア	ア		ア	I ア	ア	ア	I ア	ア	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">                     C                      4                      8                      10                      13                 </div> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright; font-size: small;">                     によって大きくなり、そのことがもの見方を多様化して                 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">                     B                      4                      8                      10                      13                 </div> </div>	ア	加	ア	e ア	ア	ア	I ア		
イ			イ	イ	イ	イ	イ		イ	イ	イ	イ	II イ	イ		イ	イ	イ	イ	る イ	イ	イ	II イ	エ
ウ			ウ	ウ	ウ	ウ	ウ		ウ	II ウ	ウ	ウ	ウ	ウ		ウ	ウ	ウ	ウ	f ウ	ウ	ウ	ウ	II ウ
エ			エ	エ	エ	エ	エ		エ	ク	エ	エ	コ	エ	エ	エ	エ	エ	って エ	エ	エ	ク	エ	
ケ										ケ			サ										ケ	
【24】	【23】	【22】	【21】	【20】	【19】	【18】	【17】	【16】	【15】	【14】	【13】	【12】	【11】	【10】	【9】	【8】	【7】	【6】	【5】	【4】	【3】	【2】	【1】	採 点 欄

共通学力検査					
国 語					
受 付 番 号					
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px dashed black; width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="border: 1px dashed black; width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="border: 1px dashed black; width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="border: 1px dashed black; width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="border: 1px dashed black; width: 20px; height: 20px;"></td> </tr> </table>					
得 点					
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; width: 50px; height: 30px;"></td> <td style="border: 1px solid black; width: 50px; height: 30px;"></td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; width: 50px; height: 30px;"></td> <td style="border: 1px solid black; width: 50px; height: 30px;"></td> </tr> </table>					

# 共通学力検査 国語 正答表

三					二										一										問題 番号
(5)		(4)	(3)	(2)	(1)	(7)			(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)	(8)		(7)	(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)		
⊖	⊕					⊖	⊖	⊖							⊖	⊖									
【24】	【23】	【22】	【21】	【20】	【19】	【18】	【17】	【16】	【15】	【14】	【13】	【12】	【11】	【10】	【9】	【8】	【7】	【6】	【5】	【4】	【3】	【2】	【1】	番号の 答の	
	(例) 立場を問わない 4 7	いうゆえを		①	ア			(例) 主観的な評価のゆらぎによって真 15 実観的評価のゆらぎによって真 25	ア	I ①		ア	I ①		(例) 他者への理解 4 8 C C 他者への理解 8	心 の 在 り 方 を 示 す も の B 認識の限界を乗り越えること 10 13 B 認識の限界を乗り越えること 10 13	担	加	ア	e おちいる			I	答 の 欄	
【24】	【23】	【22】	【21】	【20】	【19】	【18】	【17】	【16】	【15】	【14】	【13】	【12】	【11】	【10】	【9】	【8】	【7】	【6】	【5】	【4】	【3】	【2】	【1】		備考欄
										完全解答			完全解答												
2	2	2	2	2	2	2	2	3	2	2	2	2	2	2	3	2	2	2	2	2	(各1) 2	2	2	(各1) 2	配点